

平成29年度 戌さん亥さん達の田作り 特別編 かかし作り～

昨年9月号の谷津田だより「かかしのはなし」で、かかしは鳥よけというより田んぼの守り神という意味合いが大きいと紹介しました。残念なことに現代の千葉市や近辺の田んぼでかかしを見かけることはなく、その歴史も定かではありません。しかし、かかしは田んぼを守ってくれると誰もが潜在的に信じているのは不思議です。原稿の中で、江戸時代の田んぼの風景を描いた絵のかかしが弓矢を持っているとありましたが、その話を知らぬ中学生が弓矢を持ったかかしを作ってくれました。夏休みにも関わらず、田んぼの美りを願って5年生がかかしを作りに来てくれました。また、かかし作りのお知らせを見た環境漫画家つやまあきひこさんもいらしてくださいました。名づけられた個性光る7体のかかしが収穫までの学校田んぼを見守ってくれています。



青木琢真作 かかし君

★青木琢真（大椎中2年生） ぼくは5年生の時に学校田んぼのかかしを作ってから、6年生の時と今年と3回目のかかし作りになる。他の人はかかしの顔をかわいく描いていたが、かかしの顔といえば「へのもへじ」だと思いそれにした。恰好がいいのではちまきもつけて、かかしに弓矢を持たせた。最初は刀かやりにしようかと思ったが、手元に材料がなかったので、竹や麻ひもでかんたんに作れる弓矢にした。弓矢を持ったいさましいかかしが大椎小の稲を鳥から守ってくれたらいいなと思います。

★倉西優果（大椎小5年生） かかし作りでむずかしかったことは、竹を切ったこととわらをつめたことだ。竹は木と違いまわりがツルツルしていて固く中が空洞だからだ。わらを詰めた時は先に着せていた服に引っかかってなかなかわらを入れられなかったので大変だった。とくにズボンに入れるのとそでに入れるのが大変だった。髪をぬいつけるのは楽しかった。でもしっかり固定するのは少し難しかった。難しいこともあったけど、おもしろかった。

★平田花菜（大椎小5年生） 田んぼに着くとかかしに着せる洋服選びをして、竹を切り始めた。空からは太陽のまぶしい光が見えて、田んぼはノコギリの音でいっぱいになった。ノコギリで竹を切るにはコツと力が必要だ。竹を切っていくうちに息が荒くなり、見た目と違って何十倍も大変だと思った。しかし大変なときはまわりの大人の方々が手伝ってくれたり、アドバイスしてくれたりしたので、スムーズに作る事ができた。髪の毛をつける時、「髪の毛1本1本つけるのは大変だし、どうするんだろう」と思った。毛糸の輪を作り、それをかかしのあたまのてっぺんとりょうはじに糸で縫うだけだったので、なるほどと思った。かかし作りはいい経験になった。



★内山航平（あすみが丘小5年生） 初めての案山子作りで予想以上に竹が長くてびっくりした。縦3メートル横1.5メートルの竹を使った。実際に作ってみると竹が切りづらく大変だった。田んぼにさしやすいうように斜めに切った。縦と横を十字に組むところは縦の方をくりぬき、服を着せてから十字に組み麻ひもで固く結んだ。途中で友達が来たのでこの作業を手伝ってもらった。次にわらをズボ



ンや服の中に入れた。それで竹の通ってない方の足をまげて、「シェー」のポーズをとらせた。そして最後に頭をつけて顔を書いた。僕たちのチームに漫画家さんがいたので、顔を書いてもらった。僕たちの作った案山子の名前は「イヤミン2号」。わらを入れるところが大変だったけど楽しかった。

★大内 陸（あすみが丘小5年生） かかし作りは始まっていたので、友達といっしょに作ることにした。始めにのこぎりで竹に切りこみを入れて長方形の穴を開けた後、竹にわらをまいてしばり、服を着せて体を作った。服を着せてわらをつめていく時に「服はこれでいい？」「どんな顔にしようか？」と、みんなで相談した。服を着せると、体

が細かったから、わらをたしてつめた。うでにわらをつめるのが、むずかしかった。ズボンは落ちないように、ヒモでむすびつけた。顔はまんが家の人を書いてくれた。おそ松くんに出てくるイヤミにした。名前は、イヤミとアスミンを合体させて、イヤミン2号にした。稲かりまであすみ田んぼを鳥から守ってほしいです。初めてののかかし作りは楽しかった。

★向後七海（あすみが丘小1年生） かかしづくりに参加したのは今年で2回目だ。前につくったとき思ったより上手にできてうれしかったので、またつくりたいと思った。かかしの洋服選びは楽しかった。一番工夫した髪の毛は、お姉さんをイメージしてみつあみにした。幼稚園の時の麦わら帽子をかぶせた。かかしの頭が大きくて入らなかったの、お母さんが頭を小さくしようと、帽子をとったりかぶせたり、何度もがんばってつくり直してくれたのがうれしかった。顔をかくときに、どんな顔にしようかまよったけれど、にっこり笑顔にしてみたら大成功だった。かかしの名前はりおちゃんにしました。みんなのかかしを田んぼに並べて写真をとったのがすごく楽しかった。



★稲富真理（あすみが丘小5年生） 体がとけてしまうような暑さ。たえることのない太陽がおやま町を照らしていた。この夏、私は初めて「かかし作り」を体験した。何年も田んぼ作業をやっていたけれど、かかし作りは初めてだった。かかしの作り方が全く分からなくて、すごく大変だった。でも、スタッフの人が作り方を教えてくれた。特にたんぼぼさんは、一緒に手伝ってくれた。たんぼぼさんのおかげですてきなかかしを作ることができた。ありがとうございます。のこぎりを使って竹を切ったりしてすごくきんちょうしたけれど、かかしの作り方も分かったの、とてもいい思い出となった。

小山町のかかしたち



倉西優香、平田花菜作
あたまでっかち君



内田侑那、平田優作
きらめ君



内山航平、大内陸、
津山彰彦作
イヤミン2号



向後七海作
りおちゃん



稲富真理作
メアリー



稲富真理作
あすちゃん

下大和田のかかしたち





里山たんけんレポート

第212回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2017年9月3日(日) 晴れ



おだ小屋には大きなオニグモがいます。夜は網を張るのですが日中は網を撤収して休んでいます。その休んでいるオニグモを見てスタートです。草地にオオブタクサが出ていました。数日前に80数本抜いているのですがまた出てきたので引き抜きました。侵略的外来種ワースト100・外来生物法で要注意生物に指定の外来種です。道端のクヌギの樹液にはクロカナブンだけが6匹も固まっていた。カブトムシやカナブンはそろそろ終わりのようで見かけませんでした。観察コースの奥の方ではクリのイガやアケビの実が大分大きくなっていました。向かいの山では倒木が増え、荒れていましたが、そんな中でヤマホトトギスがひっそりと花をつけていました。カノコガ、キハダカノコガが発生の盛期のように

たくさん見かけました。翅が鹿の子模様で名付けられたガの仲間ですがハッカの花で6頭も集まって吸蜜しているのを観察しました。

今日はトンボの調査もかねて行う予定でしたが10月に行うこととしました。

(参加 大人9名、小学生3名、幼児1名；報告 網代春男・写真 田中正彦)

第210回 下大和田 YPP「コシヒカリ/稲刈り」

2017年9月9日(土) 晴れ

いよいよ収穫のシーズンの始まりです。今日は生育の早いコシヒカリと農林1号の稲刈りです。スタッフは1時間早く集まり、おだ作りなど前もって準備を始めました。定時に皆揃って集合、注意事項や作業内容、稲の刈り方、束ね方など説明を聞いた後、田んぼに入って刈り始めました。赤ちゃんが入ったカヤネズミの巣や赤ちゃんのヤマカガシ、真っ黒なヒキガエルの赤ちゃんなどに出会いました。カヤネズミの巣は稲刈りの終わった後、元の場所に戻しておきました。親が戻ってくるとよいですね。午前、午後と一生懸命稲刈りをしましたが3時の終了時刻には終えられず有志の方々の協力で夕刻まで頑張ると何とかコシヒカリはおだ掛けまで完了することが出来ました。

農林1号は手つかずで残ってしまいましたが、10日の里山くらぶで刈り終わりました。



(参加 大人14名、小学生6名、幼児1名、報告・写真 網代春男)

第211回 下大和田 YPP「コシヒカリ/脱穀」

2017年9月24日(日) 晴れ

一日延期しての実施でしたがたくさんの方々が参加し、順調に作業は進みました。子ども達もおだから外した稲束を脱穀場所に運んだり、脱穀の終わった稲束をおだ小屋に運んだりと活躍してくれました。粃の袋数は昨年より多いようで昨年落ち込んだ収量は大分回復したのではないかと考えられました。昨年米作り講座を受けたお子さんが年間を通じて体験したり、観察したことを「お米 万歳」としてまとめ、夏休みの課題として学校へ提出したコピーを持参されました。素晴らしい作品で皆で回し読みをしました。お米作りを通じてたくさんのお米のことを学んだことがよく判りました。米作り講座が生きた講座であることを確認出来て嬉しく思いました。

(参加 大人21名、小学生11名、幼児2名、報告 網代春男・写真 田中正彦)



第148回 小山町 YPP「コシヒカリ/稲刈り」

2017年9月23日(金) 曇り

去年はイグサの仲間がそれ程なかった田んぼにイグサの仲間が移動してきたように感じました。去年、よく似たイグサと稲を見分けて稲刈りをしたので、今年は少し慣れましたが、やはり手間がかかりました。田植えしてからの草取りが殆ど出来なかったため、来年は草取りをして稲に似たイグサが増えないよう気をつけようと思います。

(参加 大人5名、報告：稲富理枝)

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 9月 2日 ヒグラシ、ツクツクボウシ、ミンミンゼミが鳴く。つゆ草、コナギの花開花（赤シャツおやじ）。
9月 14日 彼岸花が咲く。オニヤンマの低空飛行（たんぼぼ）。
9月 23日 コジュケイの幼鳥たちが親鳥と変わらない位大きくなり、羽ばたきの練習もする（たんぼぼ）。
9月 30日 小山の田の上をサシバが旋回する。アオサギが鳴きながら飛び立つ（赤シャツおやじ）。

下大和田

- 9月 15日 アキノノゲシ咲く（網代）。
9月 20日 ミソソバ、アキノウナギツカミ咲く（網代）。
9月 25日 アキノマツムシソウ、ヤマハッカ、シラヤマギク咲く。クリ実落ちる（網代）。



イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト（YPP）のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先（いずれも）：ちば環境情報センター（TEL&FAX：043-223-7807 E-mail：hello@ceic.info/）

- ご注意**：・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。
・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。
・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼第212・213回下大和田 YPP「古代米稲刈り・脱穀」

晩生の古代米を刈り、おだに掛けて乾し、脱穀します。脱穀は前日からの天候によって延期することもありますので、その際はホームページでお知らせします。会員へはメーリングでお知らせします。

日時： 古代米稲刈り 2017年10月21日（土）9時45分～15時 ☆小雨決行
古代米脱穀 2017年11月4日（土）9時45分～14時

場所： 千葉市緑区下大和田谷津田（ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。）

集合： 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45（JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:25、8:40など> 料金は520円）

持ち物： 弁当、飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物。

参加費： ちば環境情報センター会員および家族 100円、一般 300円、小学生未満無料

主催： ちば環境情報センター **共催**： ちば・谷津田フォーラム

▼第214回 下大和田谷津田観察会とごみ拾い

秋深まった谷津を巡ります。トンボの調査もかねて行います。

日時： 2017年11月5日（日）9時45分～12時 ☆小雨決行

場所： 千葉市緑区下大和田谷津田（同上）

集合： 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45（下大和田 YPP に同じ）

持ち物： 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費： 100円（小学生以上、資料代など）

主催： ちば環境情報センター・ちば・谷津田フォーラム

▼ちば里山くらぶ活動日 谷津田の森と水辺の手入れ

日時： 2017年10月20日（金）9時45分～14時

場所： 千葉市緑区下大和田谷津田（同上）**持ち物**： 飲み物、弁当、長袖長ズボンの服装、軍手、長靴、帽子、敷物

主催： ちば環境情報センター

▼第149・150回 小山町 YPP「コシヒカリの脱穀・古代米の稲刈り」

コシヒカリの脱穀と古代米の稲刈りをします。

日時： コシヒカリの脱穀 2017年10月9日（月）10時00分～12時半
古代米の稲刈り 2017年10月29日（日）10時00分～12時半 ☆小雨決行

場所： 千葉市緑区小山町 リンドウ広場（ご連絡いただければ地図をお送りします）

主催： 飲み物、長靴（長めのもの）、帽子、軍手、敷物。

参加費： 100円（小学生以上、資料代など）

主催： ちば環境情報センター

編集後記 かかしの、顔、顔、顔。。。今号では今季の田んぼをみまもり続けているかかしの顔がならびました。稲穂とともに、栗実り、畦歩けば、イナゴ飛び、赤とんぼ飛び交い、モズは高鳴き。。。すっかり秋色の田んぼ見守るかかしたちは、風雨を幾度となく乗り越えた勇者の顔です。（赤シャツおやじ）